

5. 精神障害者生活状況調査（入院患者・専門職）結果

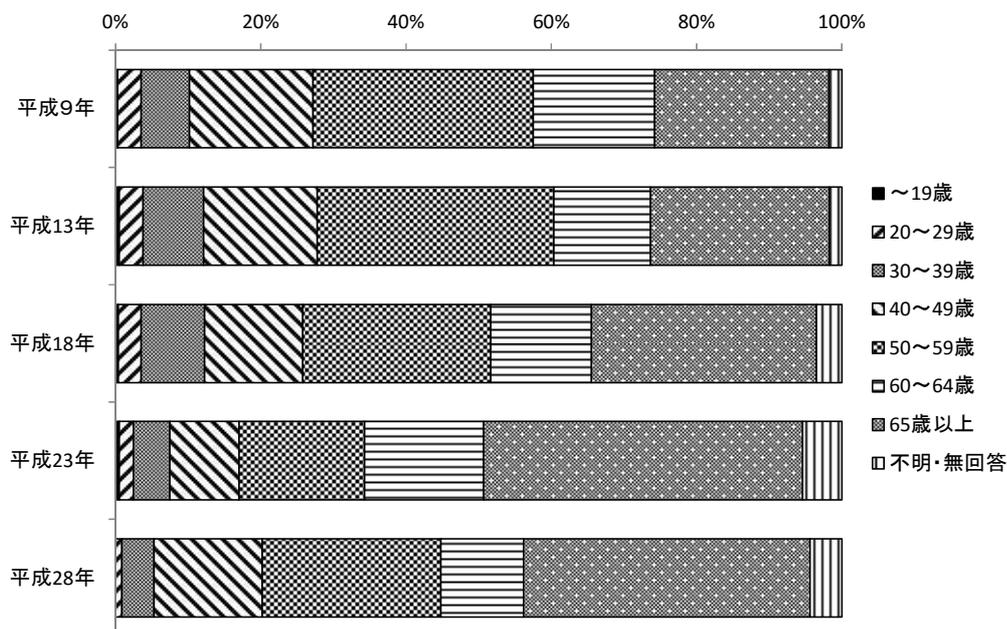
●年齢（本人調査）

年齢構成は、「50～59歳」が24.6%と最も高く、次いで「70歳以上」が21.9%、「65～69歳」が17.5%などと続いている。

問1 年齢

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
～19歳	0.3	0.5	0.4	0.5	0.0
20～29歳	3.2	3.3	3.1	2.0	0.9
30～39歳	6.7	8.3	8.8	5.0	4.4
40～49歳	17.0	15.6	13.5	9.5	14.9
50～59歳	30.3	32.5	25.9	17.3	24.6
60～64歳	16.7	13.3	13.9	16.4	11.4
65～69歳	24.0	24.6	14.0	9.2	17.5
70歳以上			17.0	34.7	21.9
不明・無回答	1.8	1.7	3.5	5.4	4.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	444	114



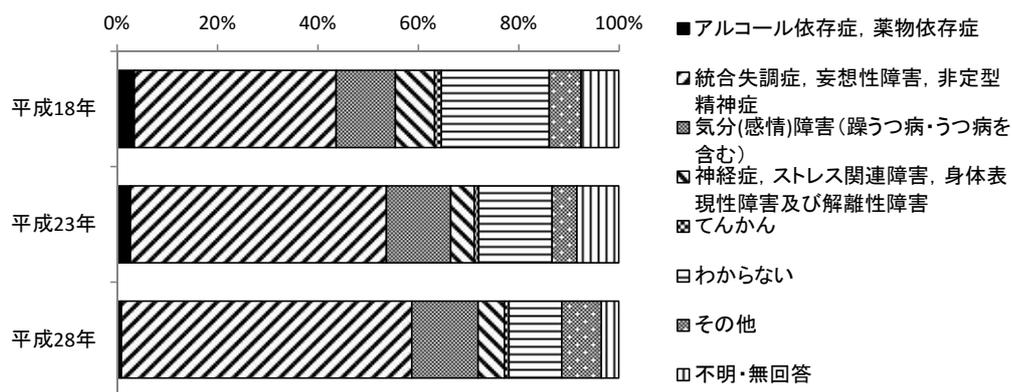
●精神疾患の種類等（本人調査）

精神疾患の種類については、「統合失調症，妄想性障害，非定型精神症」が57.9%で最も多く，「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）」が13.2%，「神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害」が5.3%となっている。

問7 精神疾患の種類

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
アルコール依存症，薬物依存症	3.5	2.7	0.9
統合失調症，妄想性障害，非定型精神症	40.2	50.9	57.9
気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）	11.8	12.8	13.2
神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害	7.8	4.7	5.3
てんかん	1.4	0.9	0.9
わからない	21.4	14.6	10.5
その他	6.4	5.0	7.9
不明・無回答	7.5	8.3	3.5
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114

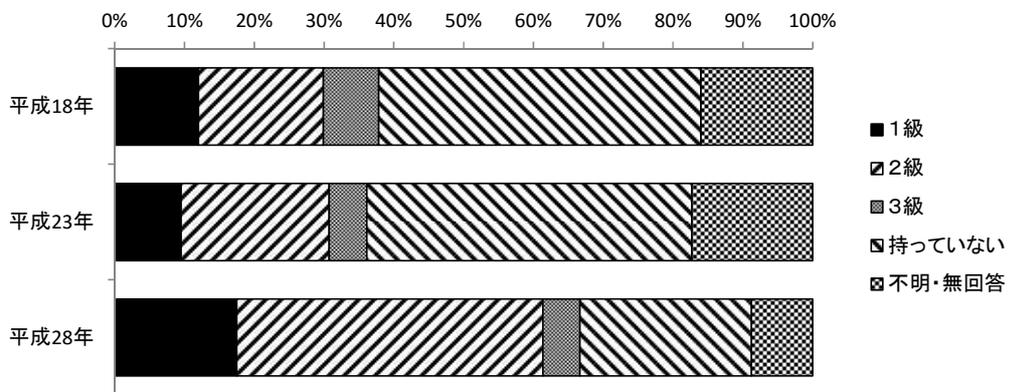


精神障害者保健福祉手帳の等級については、「1級」が17.5%、「2級」が43.9%、「3級」が5.3%、「持っていない」が24.6%となっている。

問9 精神障害者保健福祉手帳の等級

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
1級	12.0	9.5	17.5
2級	17.9	21.2	43.9
3級	7.9	5.4	5.3
持っていない	46.2	46.6	24.6
不明・無回答	16.0	17.3	8.8
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114

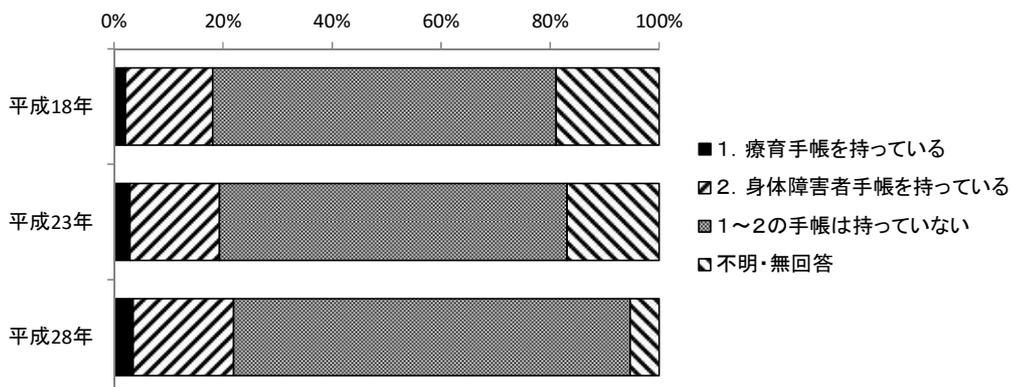


身体障害者手帳等の有無については、「1～2の手帳は持っていない」が72.8%で最も多くなっている。次いで「身体障害者手帳を持っている」は18.4%、「療育手帳を持っている」は3.5%と続いている。

問10 療育手帳・身体障害者手帳の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
1. 療育手帳を持っている	2.1	2.9	3.5
2. 身体障害者手帳を持っている	16.0	16.4	18.4
1～2の手帳は持っていない	63.0	63.7	72.8
不明・無回答	18.9	16.9	5.3
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114



●医療費の状況（本人調査）

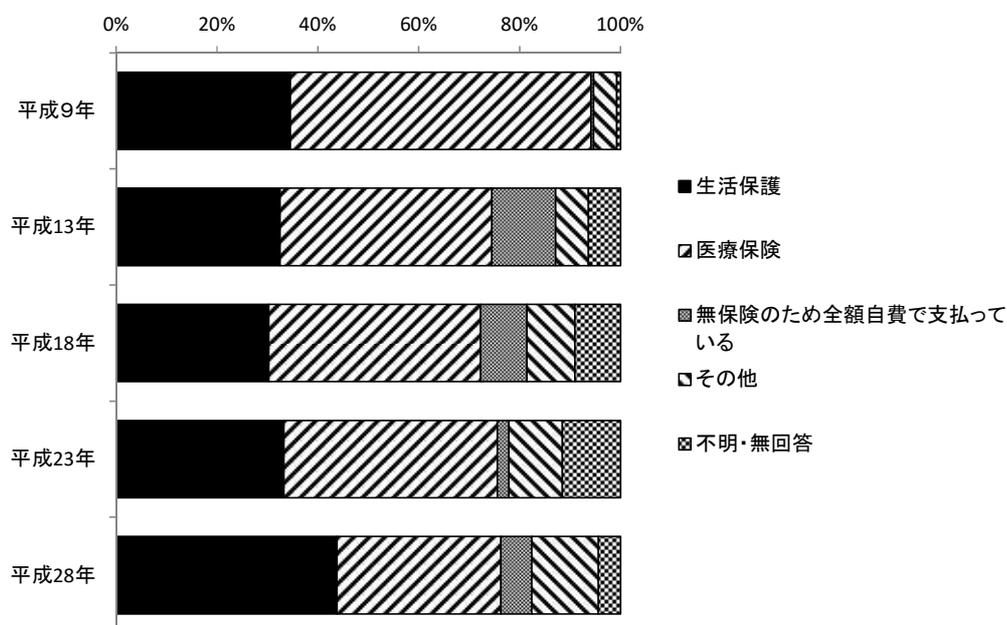
現在の医療費については、「生活保護」が43.9%で最も多く、次いで「医療保険」が32.5%となっている。

問6 医療費負担の状況 *

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
生活保護	35.2	33.0	30.3	33.3	43.9
医療保険	60.8	42.6	42.0	42.3	32.5
無保険のため全額自費で支払っている	0.5	12.8	9.2	2.3	6.1
その他	4.7	6.6	9.5	10.6	13.2
不明・無回答	0.7	6.4	9.0	11.5	4.4
合計	101.9	101.4	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	444	114

* 平成9年、13年は複数回答



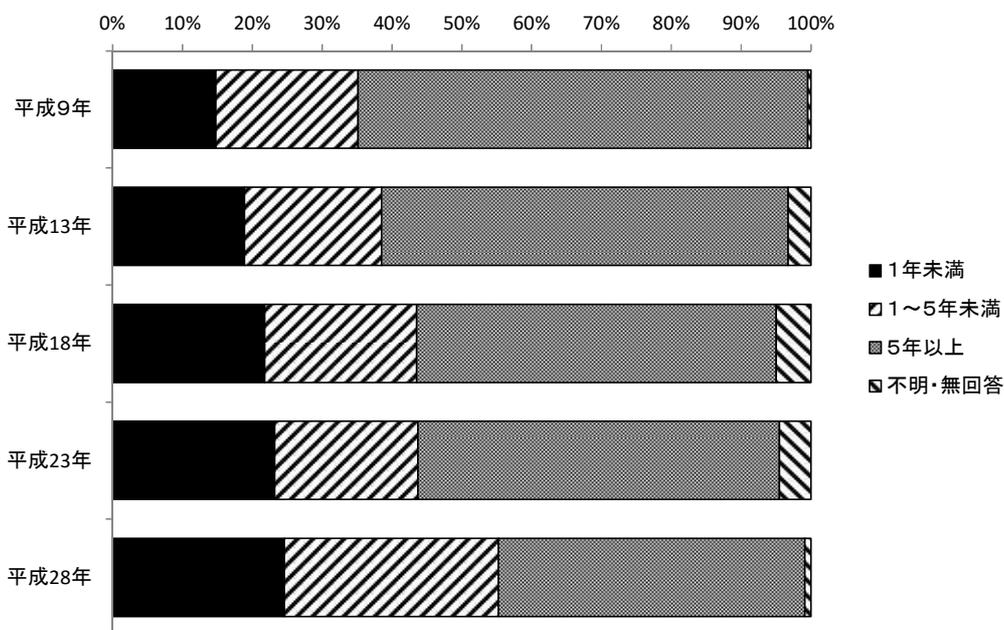
●入院期間（本人調査）

入院期間については、「5年以上」が43.9%を占め、最も多くなっている。次いで「1～5年未満」が30.7%、「1年未満」が24.6%となっている。

問8 入院期間

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1年未満	14.8	18.9	21.8	23.2	24.6
1～2年未満	20.3	19.6	7.0	8.8	12.3
2～3年未満			4.9	4.7	5.3
3～4年未満			5.0	4.3	7.0
4～5年未満			4.9	2.7	6.1
5年以上	64.3	58.2	51.5	51.8	43.9
不明・無回答	0.5	3.3	5.0	4.5	0.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	444	114



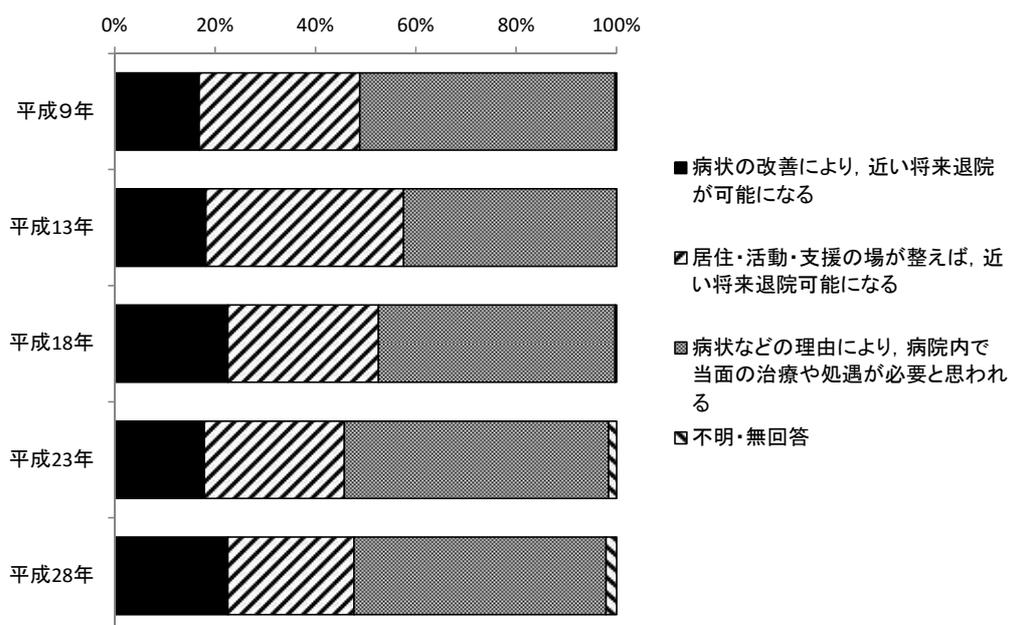
●退院の可能性（専門職調査）

入院患者の退院の可能性については、「病状などの理由により、病院内で当面の治療や処遇が必要と思われる」が50.3%で最も多く、次いで「居住・活動・支援の場が整えば、近い将来退院可能になる」が25.1%、「病状の改善により、近い将来退院が可能になる」が22.6%となっている。

問1 退院の可能性

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
病状の改善により、近い将来退院が可能になる	16.8	18.2	22.5	17.9	22.6
居住・活動・支援の場が整えば、近い将来退院可能になる	32.0	39.4	30.0	27.9	25.1
病状などの理由により、病院内で当面の治療や処遇が必要と思われる	50.8	42.3	47.1	52.7	50.3
不明・無回答	0.3	0.1	0.3	1.6	2.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	448	195



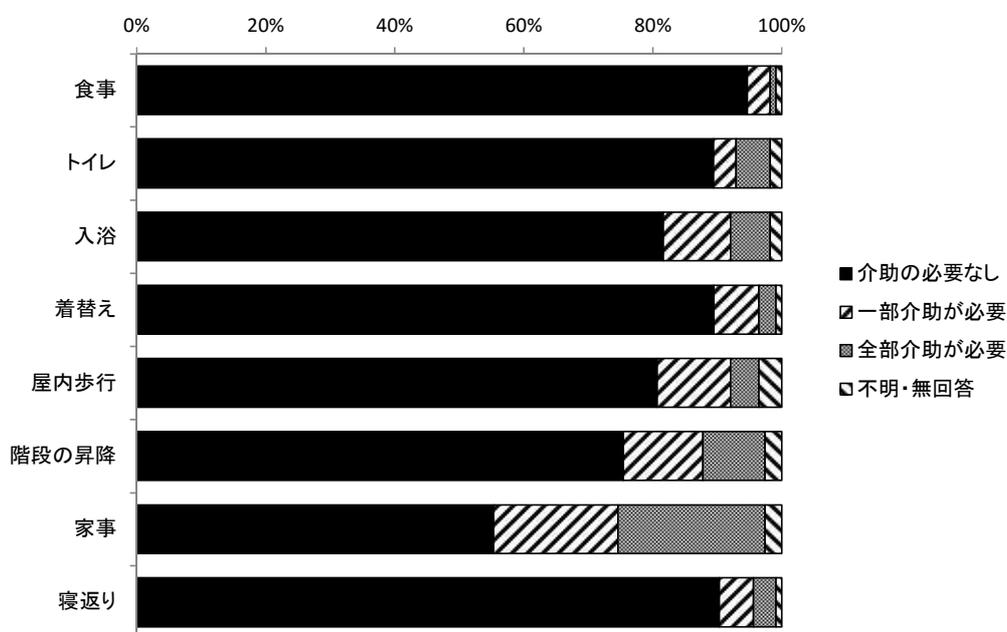
●生活の状況（本人調査）

入院患者の日常生活動作（IADL）の中で，“何らかの介助が必要”（一部介助が必要＋全部介助が必要）である人の割合が高いものは、「家事」で42.1%，次いで、「階段の昇降」が21.9%，「入浴」が16.6%と続いている。

問 1 2 日常生活動作の状況

（単位：％）

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
介助の必要なし	94.7		89.5		81.6		89.5		80.7		75.4		55.3		90.4	
一部介助が必要	3.5	4.4	3.5	8.8	10.5	16.6	7.0	9.6	11.4	15.8	12.3	21.9	19.3	42.1	5.3	8.8
全部介助が必要	0.9		5.3		6.1		2.6		4.4		9.6		22.8		3.5	
不明・無回答	0.9		1.8		1.8		0.9		3.5		2.6		2.6		0.9	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	114		114		114		114		114		114		114		114	



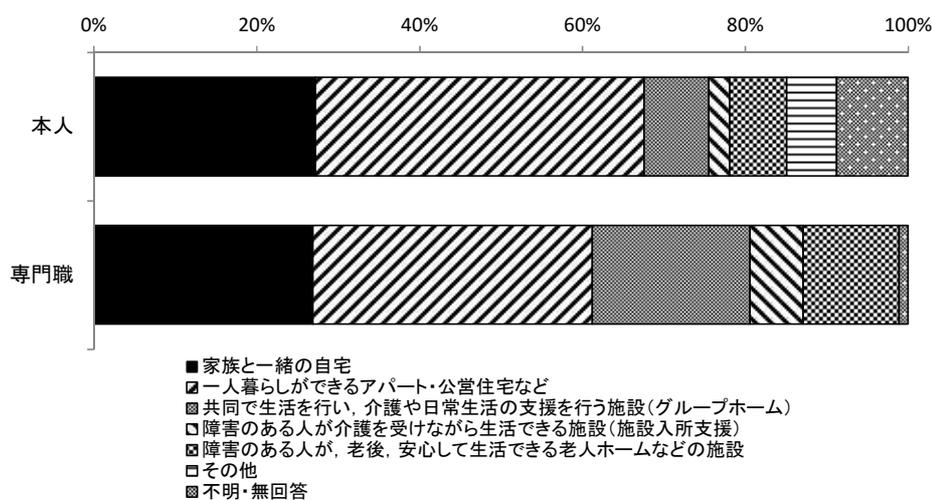
●退院後に必要な支援（本人調査・専門職調査）

退院後、最適だと思われる生活の場については、本人調査・専門職調査とも、「一人暮らしができるアパート・公営住宅など」が最も多くなっている（本人40.4%，専門職34.4%）。また、両調査とも、2番目に多い項目は「家族と一緒に自宅」（本人27.2%，専門職26.9%），3番目に多い項目は「共同で生活を行い、介護や日常生活の支援を行う施設（グループホーム）」（本人7.9%，専門職19.4%）となっている。

問19・問2 退院後に最適だと思われる生活の場

（単位：%）

	本人	専門職
家族と一緒に自宅	27.2	26.9
一人暮らしができるアパート・公営住宅など	40.4	34.4
共同で生活を行い、介護や日常生活の支援を行う施設（グループホーム）	7.9	19.4
障害のある人が介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）	2.6	6.5
障害のある人が、老後、安心して生活できる老人ホームなどの施設	7.0	11.8
その他	6.1	0.0
不明・無回答	8.8	1.1
合計	100.0	100.0
n	114	93

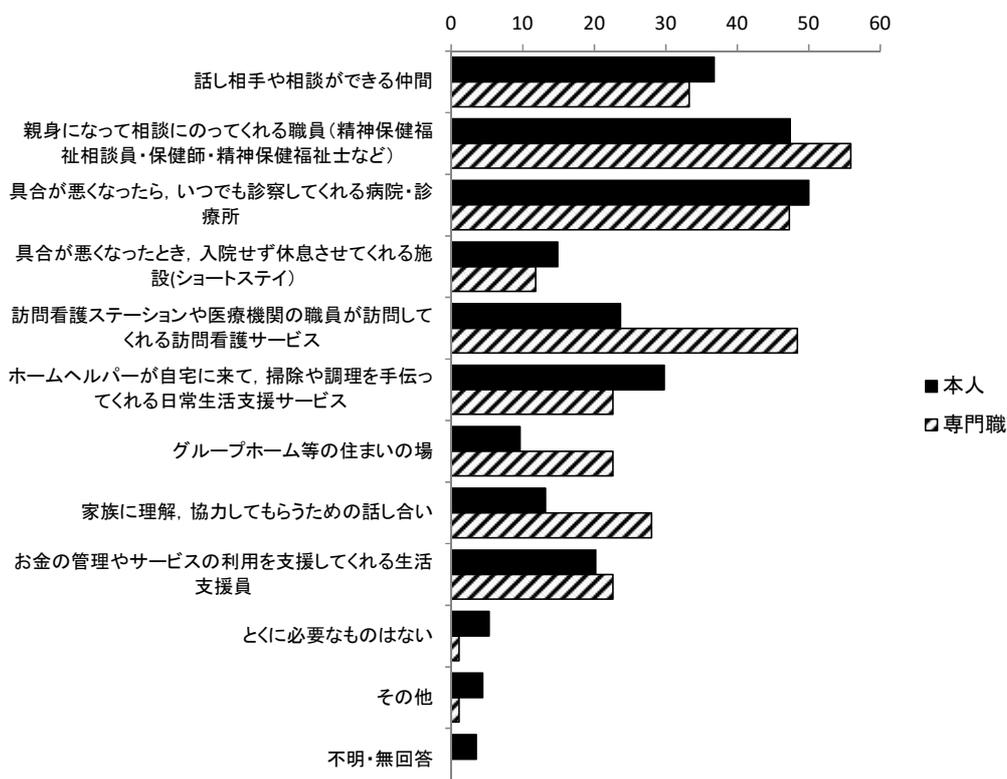


退院後、地域で生活していく上で必要なこと（複数回答）については、本人調査では「具合が悪くなったら、いつでも診察してくれる病院・診療所」（50.0%）、専門職調査では「親身になって相談にのってくれる職員（精神保健福祉相談員・保健師・精神保健福祉士など）」（55.9%）が最も多い。なお、本人調査と専門職調査で比率の差が最も大きい項目は「訪問看護ステーションや医療機関の職員が訪問してくれる訪問看護サービス」（本人：23.7%、専門職：48.4%）であり、両者の間には24.7ポイントの差がある。

問13・問3 退院後に地域で生活する上で必要なこと（複数回答3つまで）

（単位：%）

	本人	専門職
話し相手や相談ができる仲間	36.8	33.3
親身になって相談にのってくれる職員（精神保健福祉相談員・保健師・精神保健福祉士など）	47.4	55.9
具合が悪くなったら、いつでも診察してくれる病院・診療所	50.0	47.3
具合が悪くなったとき、入院せず休息させてくれる施設（ショートステイ）	14.9	11.8
訪問看護ステーションや医療機関の職員が訪問してくれる訪問看護サービス	23.7	48.4
ホームヘルパーが自宅に来て、掃除や調理を手伝ってくれる日常生活支援サービス	29.8	22.6
グループホーム等の住まいの場	9.6	22.6
家族に理解、協力してもらうための話し合い	13.2	28.0
お金の管理やサービスの利用を支援してくれる生活支援員	20.2	22.6
とくに必要なものはない	5.3	1.1
その他	4.4	1.1
不明・無回答	3.5	0.0
合計	258.8	294.7
n	114	93

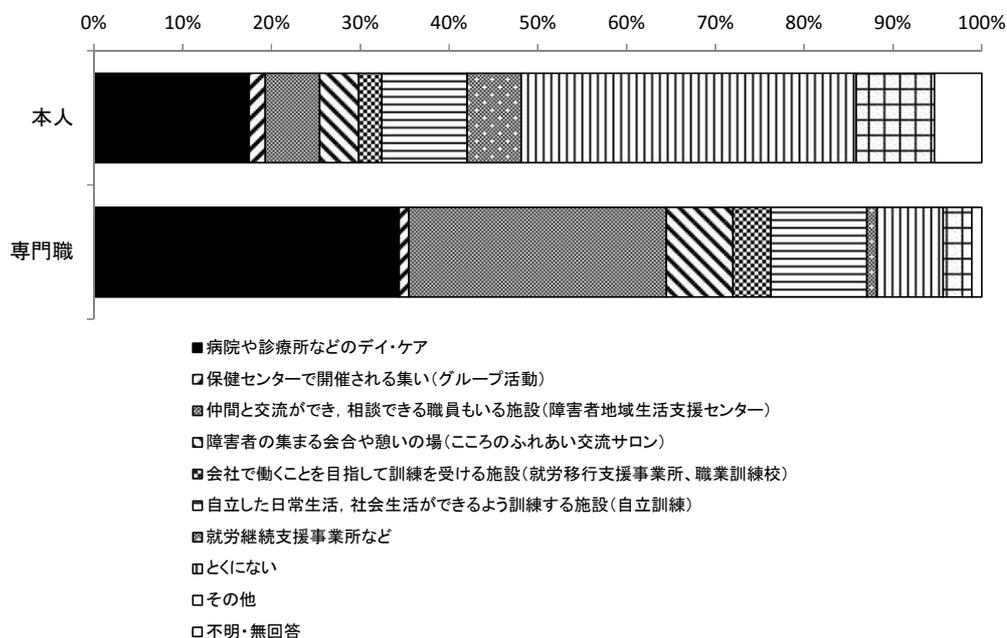


退院後、最適だと思われる活動の場については、本人調査では「病院や診療所などのデイ・ケア」が17.5%、「自立した日常生活、社会生活ができるよう訓練する施設（自立訓練）」が9.6%などとなっているが、「とくにない」が37.7%で最も多い。専門職調査では「病院や診療所などのデイ・ケア」が34.4%、「仲間と交流ができ、相談できる職員もいる施設（障害者地域生活支援センター）」が29.0%などとなっている。

問16・問5 退院後に最適だと思われる活動の場

(単位：%)

	本人	専門職
病院や診療所などのデイ・ケア	17.5	34.4
保健センターで開催される集い（グループ活動）	1.8	1.1
仲間と交流ができ、相談できる職員もいる施設（障害者地域生活支援センター）	6.1	29.0
障害者の集まる会合や憩いの場（こころのふれあい交流サロン）	4.4	7.5
会社で働くことを目指して訓練を受ける施設（就労移行支援事業所、職業訓練校）	2.6	4.3
自立した日常生活、社会生活ができるよう訓練する施設（自立訓練）	9.6	10.8
就労継続支援事業所など	6.1	1.1
とくにない	37.7	7.5
その他	8.8	3.2
不明・無回答	5.3	1.1
合計	100.0	100.0
n	114	93



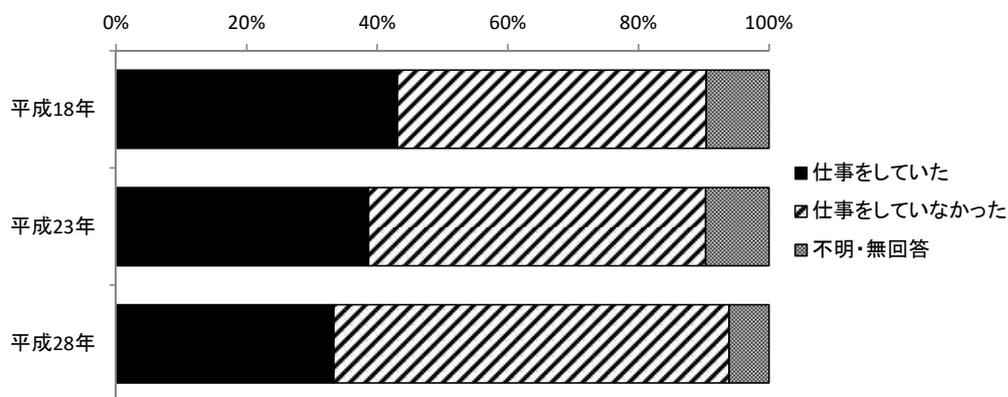
●入院前の就労の状況等（本人調査）

入院前の就労状況については、「仕事をしてきた」が33.3%、「仕事をしていなかった」が60.5%となっている。

問20 入院前の就労状況

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
仕事をしてきた	43.1	38.7	33.3
仕事をしていなかった	47.3	51.6	60.5
不明・無回答	9.6	9.7	6.1
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114

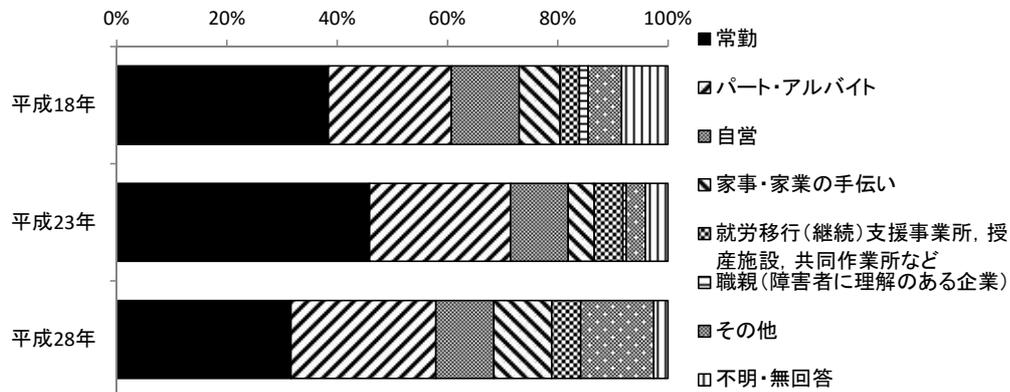


入院前に就労していた人の就労形態については、「常勤」が31.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が26.3%、「自営」「家事・家業の手伝い」が共に10.5%などと続いている。

問 2 1 - 2 入院前の就労形態

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
常勤	38.4	45.9	31.6
パート・アルバイト	22.3	25.6	26.3
自営	12.3	10.5	10.5
家事・家業の手伝い	7.4	4.7	10.5
就労移行（継続）支援事業所，授産施設，共同作業所など	3.5	5.2	5.3
職親（障害者に理解のある企業）	1.6	0.6	-
その他	6.1	3.5	13.2
不明・無回答	8.4	4.1	2.6
合計	100.0	100.0	100.0
n	310	172	38



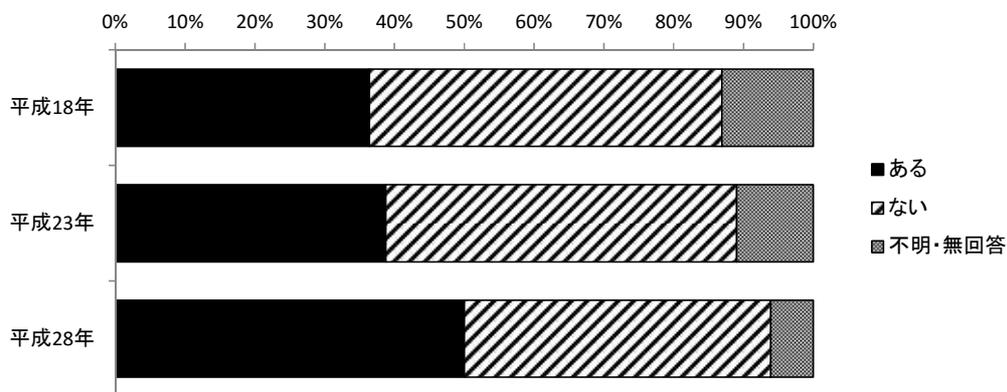
●収入の状況（本人調査）

収入の有無は、「ある」が50.0%、「ない」が43.9%となっている。

問24 収入の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
ある	36.4	38.7	50.0
ない	50.5	50.2	43.9
不明・無回答	13.1	11.0	6.1
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114

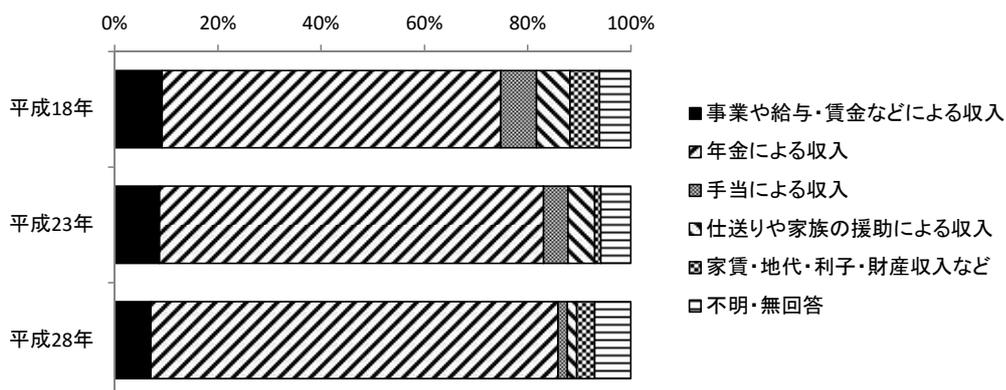


収入の種類では、「年金による収入」が78.9%で最も多い。「事業や給与・賃金などによる収入」は7.0%となっている。

問25-1 収入の種類

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
事業や給与・賃金などによる収入	9.2	8.7	7.0
年金による収入	65.6	74.4	78.9
手当による収入	6.9	4.7	1.8
仕送りや家族の援助による収入	6.5	5.2	1.8
家賃・地代・利子・財産収入など	5.7	1.2	3.5
不明・無回答	6.1	5.8	7.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	262	172	57

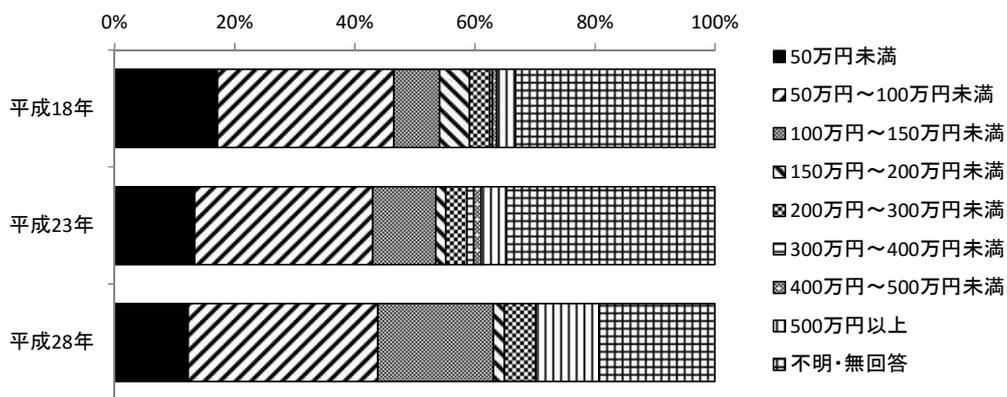


収入の額では、「50万円～100万円未満」が31.6%で最も多く、次いで「100万円～150万円未満」が19.3%と続いている。また、年収が100万円未満の人は全体の43.9%と半数近くを占めている。

問 2 5 - 2 収入額

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
50 万円未満	17.2	13.4	12.3
50 万円～100 万円未満	29.4	29.7	31.6
100 万円～150 万円未満	7.6	10.5	19.3
150 万円～200 万円未満	5.0	1.7	1.8
200 万円～300 万円未満	3.4	3.5	5.3
300 万円～400 万円未満	0.4	1.2	0.0
400 万円～500 万円未満	0.8	1.2	0.0
500 万円以上	3.1	4.1	10.5
不明・無回答	33.2	34.9	19.3
合計	100.0	100.0	100.0
n	262	172	57



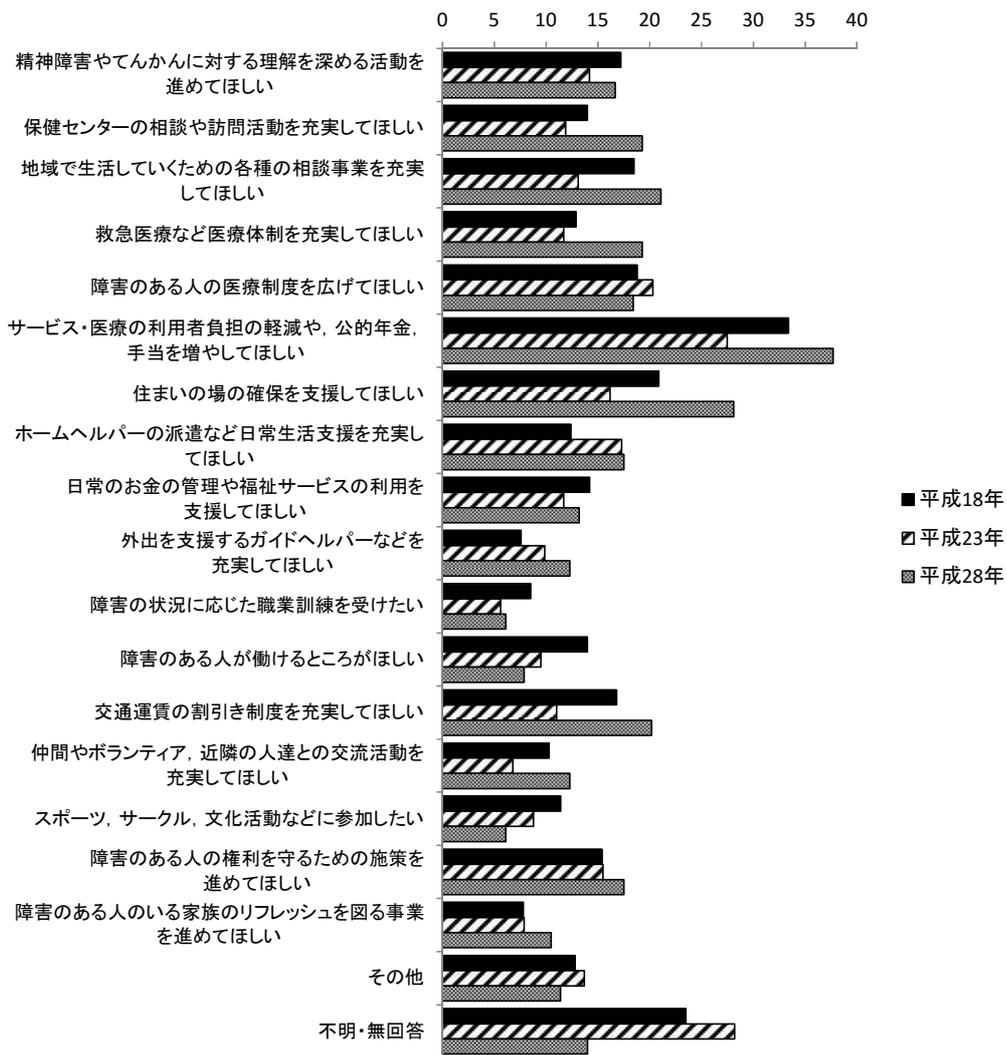
●福祉施策への要望など（本人調査）

福祉施策への要望（複数回答）については、「サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当を増やしてほしい」が37.7%と最も多く、次いで「住まいの場の確保を支援してほしい」が28.1%、「地域で生活していくための各種の相談事業を充実してほしい」が21.1%などと続いている。

問 2 6 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
精神障害やてんかんに対する理解を深める活動を進めてほしい	17.2	14.2	16.7
保健センターの相談や訪問活動を充実してほしい	14.0	11.9	19.3
地域で生活していくための各種の相談事業を充実してほしい	18.5	13.1	21.1
救急医療など医療体制を充実してほしい	12.9	11.7	19.3
障害のある人の医療制度を広げてほしい	18.8	20.3	18.4
サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当を増やしてほしい	33.4	27.5	37.7
住まいの場の確保を支援してほしい	20.9	16.2	28.1
ホームヘルパーの派遣など日常生活支援を充実してほしい	12.4	17.3	17.5
日常のお金の管理や福祉サービスの利用を支援してほしい	14.2	11.7	13.2
外出を支援するガイドヘルパーなどを充実してほしい	7.6	9.9	12.3
障害の状況に応じた職業訓練を受けたい	8.5	5.6	6.1
障害のある人が働けるところがほしい	14.0	9.5	7.9
交通運賃の割引き制度を充実してほしい	16.8	11.0	20.2
仲間やボランティア、近隣の人達との交流活動を充実してほしい	10.3	6.8	12.3
スポーツ、サークル、文化活動などに参加したい	11.4	8.8	6.1
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい	15.4	15.5	17.5
障害のある人のいる家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい	7.8	7.9	10.5
その他	12.8	13.7	11.4
不明・無回答	23.5	28.2	14.0
合計	290.5	260.8	309.6
n	719	444	114



●障害者差別解消法の認知（本人調査・専門職調査）

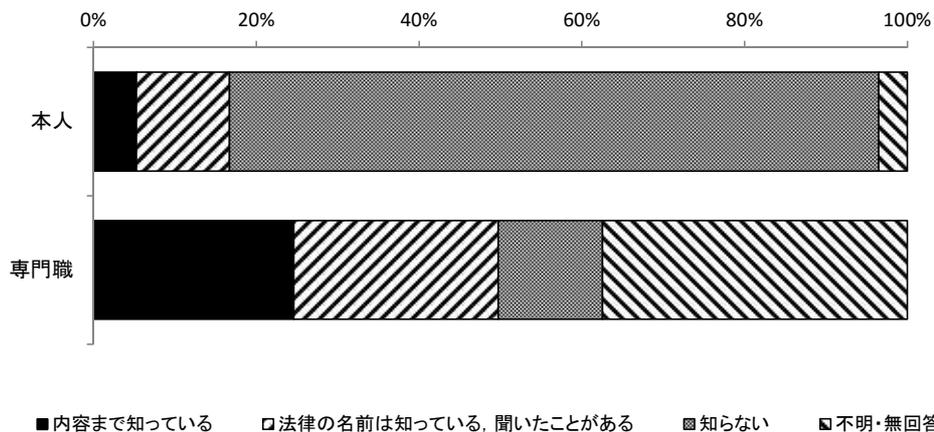
障害者差別解消法の認知については、本人調査では「知らない」が79.8%で最も多く、次いで「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が11.4%、「内容まで知っている」が5.3%となっている。

専門職調査では、「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が25.1%で最も多く、次いで「内容まで知っている」が24.6%、「知らない」が12.8%となっている。

問27・問11 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	本人	専門職
内容まで知っている	5.3	24.6
法律の名前は知っている、聞いたことがある	11.4	25.1
知らない	79.8	12.8
不明・無回答	3.5	37.4
合計	100.0	100.0
n	114	195



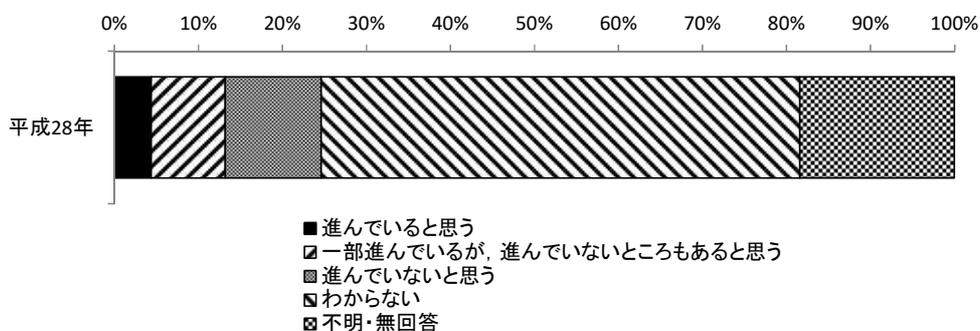
● 「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については、「わからない」が57.0%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が11.4%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が8.8%、「進んでいると思う」が4.4%となっている。

問28-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	4.4
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	8.8
進んでいないと思う	11.4
わからない	57.0
不明・無回答	18.4
合計	100.0
n	114

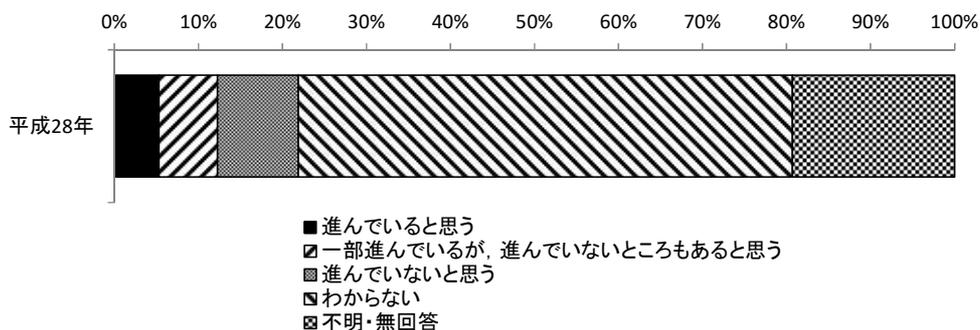


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「わからない」が58.8%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が9.6%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が7.0%、「進んでいると思う」が5.3%となっている。

問28-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	5.3
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	7.0
進んでいないと思う	9.6
わからない	58.8
不明・無回答	19.3
合計	100.0
n	114

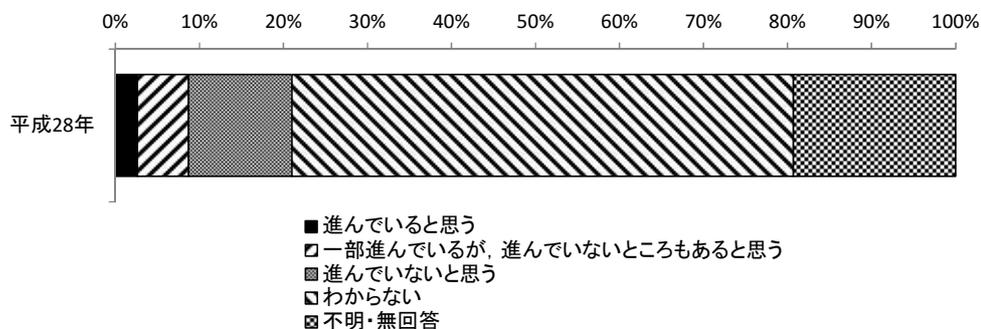


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「わからない」が59.6%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が12.3%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が6.1%、「進んでいると思う」が2.6%となっている。

問28-3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	2.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	6.1
進んでいないと思う	12.3
わからない	59.6
不明・無回答	19.3
合計	100.0
n	114

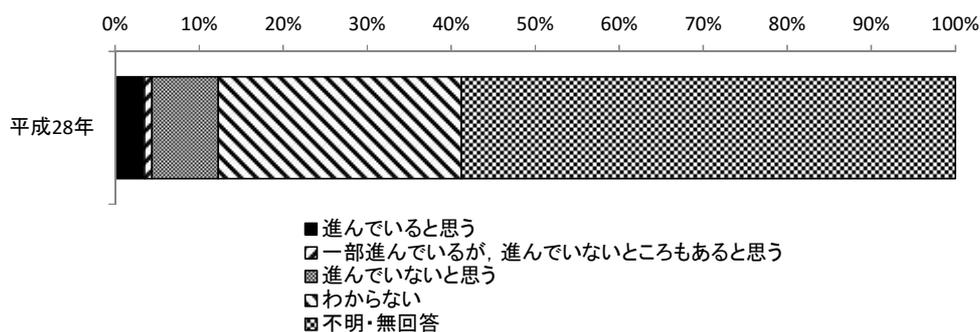


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が28.9%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が7.9%、「進んでいると思う」が3.5%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が0.9%となっている。

問28-4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.5
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	0.9
進んでいないと思う	7.9
わからない	28.9
不明・無回答	58.8
合計	100.0
n	114

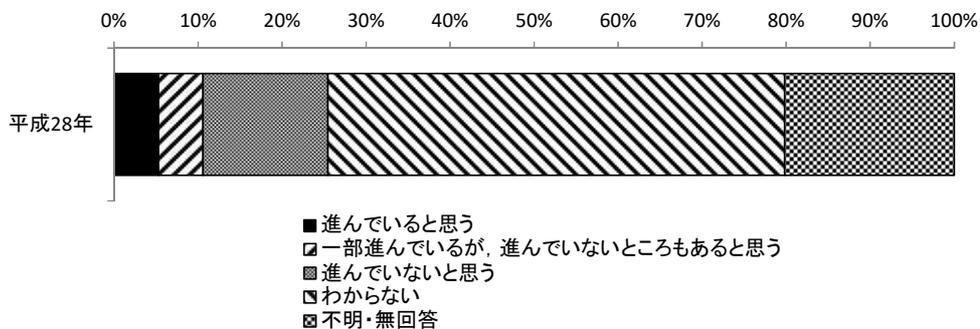


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が54.4%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が14.9%、「進んでいると思う」と「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が同率で5.3%となっている。

問28-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	5.3
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	5.3
進んでいないと思う	14.9
わからない	54.4
不明・無回答	20.2
合計	100.0
n	114



人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「わからない」が48.2%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が12.3%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が10.5%、「進んでいると思う」が9.6%となっている。

問28-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	9.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	10.5
進んでいないと思う	12.3
わからない	48.2
不明・無回答	19.3
合計	100.0
n	114

